

令和2年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	2702	領域略称名	精密制御反応場
研究領域名	高難度物質変換反応の開発を指向した精密制御反応場の創出		
領域代表者名 (所属等)	真島 和志 (大阪大学・基礎工学研究科・教授)		

(評価結果)

A+ (研究領域の設定目的に照らして、期待以上の成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、反応活性点と反応に密接に関わるその周辺領域を合わせた反応場を精密に設計することで、高難度の有機合成反応を開発することを目的とする。研究期間を通じて多数の学术论文が発表されており、特に窒素のアンモニアへの変換や二酸化炭素のギ酸への変換を始めとする極めて多様な高難度反応を数多く開発した点は特筆すべき研究成果であり、非常に高く評価できる。また、領域代表者の強いリーダーシップにより、共同研究や若手育成、国際連携なども素晴らしい成果が挙げられており、領域運営についても高く評価できる。

今後、本研究領域が継続発展することで、本研究で得られた成果が実際に社会問題解決のために応用、展開されることを強く期待する。また、本研究で開発された数多くの高難度反応を基に、有機合成化学の新たな学理が構築されることも期待する。